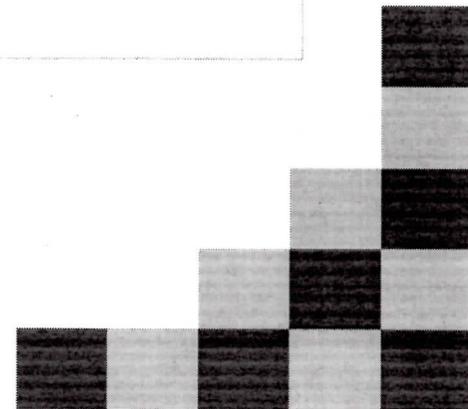


資料2

あきしま学びぷらん(第2次昭島市生涯学習推進計画)進捗状況調査

質問と回答

平成27年9月



質問一覧

NO	調査票 ページ	事業内容	質問・確認事項	回答ページ
1	1	PTA育成補助	①補助金は主に何に使われているか ②「連携の推進」として取り組んだ事例はあるか	➡ 1
2	1	放課後子ども教室推進事業	①放課後子ども教室と学童を一体化させていきたいのか ②評価◎の理由は	➡ 1
3	3	自治会加入パンフレット作成	パンフレットカラー化、切手不要ハガキで加入申し込みのあった件数	➡ 1
4	4	自治会に交付している各種補助金とコミュニティ協議会補助金について	①自治会に交付している各種補助金事業の評価△の理由 ②コミュニティ協議会補助金については評価◎だが、①の評価△との違いは何か	➡ 1
5	5 (40)	公共施設地域管理補助金	①コミュニティ協議会による市立会館運営が、武蔵野会館以外波及していかないのはなぜか ②課題に「自由度が少ない」とあるが、その具体的な内容	➡ 2
6	5	ボランティア助成金/サロン活動助成金	①平成26年度に交付した補助金の実績(ボランティア助成金のみ) ②ボランティア助成金とサロン活動助成金に対する評価○と◎の違いは何か	➡ 2
7	9	■市の施設の整備・充実及び使いやすい施設に向けて	「ボランティア団体や活動団体と連携を図る」ために取り組んだ事例、これから取り組もうとしている事業等があるか	➡ 2
8	9	野外活動施設管理事業	富士見高原キャンプ場と北秋川山の家の利用状況について	➡ 2
9	10	市民図書館の運営	①評価△の理由 ②ITCの活用について	➡ 3
10	13	松原町コミュニティセンター管理運営	利用したサークル、利用状況について	➡ 3
11	14	教育福祉総合センター建設室	①進捗状況、スケジュールの状況 ②「市民交流の場」「内外との連携」として、具体的に考えている取組みは何か	➡ 3
12	18	子どもと親の家庭教育事業	評価△の理由	➡ 3

NO	調査票 ページ	事業内容	質問・確認事項	回答ページ
13	24	昭島の水道	評価◎の理由	➡ 3
14	25	各種スポーツ教室等の評価について	評価△の理由(少年少女サッカー教室(高学年)、クライミング施設利用認定試験、空手道教室、女性のためのエアロビクス教室)	➡ 4
15	34~36	情報の提供について	市内で増加してきていると思われる在留外国人に対しての外国語対応について、その他音声や点字等の取り組みについて	➡ 4
16	38	連携体制について	生活コミュニティ課を中心として、市民会館公民館、ボランティアセンター、社会教育課で取っているような連携はほかにもあるか	➡ 4
17	38	相談機能について	相談件数と、その内容	➡ 4
18	39	■人材育成の活用とボランティアの活用	「地域の実情を把握する」ために取り組んだ事例、取り組もうとしている事業等はあるか	➡ 5
19	その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 昭島に在住する外国人の国別の人数 ② 本人たちにはどんな困っている問題があるのか ③ 行政側として困っている問題は何か ④ 特に言葉が通じない点をどう解決しているか ⑤ 文化や習慣、生き方の違いが問題を起こしていることがないか 	➡ 5	

NO	調査票 ページ	事業内容	質問・確認事項	担当課
1	1	PTA育成補助	①補助金は主に何に使われているか ②「連携の推進」として取り組んだ事例はあるか	社会教育課
回答		<p>①主に総会(6月頃)、教育懇談会(11月頃)、ブロック(西部、東部、中部)事業、視察研修等に使われている。 ②平成26年度末に、「公立小・中学校PTA協議会運営ガイド」を作成(編集 社会教育課)。業務の可視化による役員の負担軽減を図る。 また、ガイドブックに相談窓口としての社会教育課の役割を明記。</p>		
2	1	放課後子ども教室推進事業	①放課後子ども教室と学童を一体化させていきたいのか ②評価◎の理由	子ども育成課
回答		<p>①現在、教育委員会、子ども家庭部、学校と協議が整っていない状況。 今後、一体化に向けて、協議が整い次第、「昭島市子ども・子育て支援事業計画」に記載する予定。 ②放課後における児童の安全な居場所として市内全14小学校において実施しており、多くの児童に利用され開設日数、参加児童数も増加傾向が続いている。</p>		
3	3	自治会加入パンフレット作成	パンフレットカラー化、切手不要ハガキで加入申し込みのあった件数	生活コミュニティ課
回答		2件		
4	4	自治会に交付している各種補助金とコミュニティ協議会補助金について	自治会に交付している各種補助金事業の評価△の理由。 コミュニティ協議会補助金については評価◎だが、①の評価△との違いは何か	生活コミュニティ課
回答		<p>団体とのかかわり方も違い、補助金の算出方法も異なる。 コミュニティ協議会は行政が事務局的に関わっているため、活動が把握できており、補助金の効果、必要額がわかりやすい。 自治会は、自主的に活動し、行政は必要時にサポート。活動のすべては把握できない。補助金の効果、必要額がわかりにくい。</p>		

NO	調査票ページ	事業内容	質問・確認事項	担当課
5	5 (40)	公共施設地域管理補助金	①コミュニティ協議会による市立会館運営が、武蔵野会館以外波及していかないのはなぜか ②課題に「自由度が少ない」とあるが、その具体的な内容	社会教育課 生活コミュニティ課
回答		<p>①会館の成り立ちがそもそも他の市立会館とは異なっている。地域住民の意見が反映されていることによる会館への愛着心も他に類を見ない。以前からある会館のやり方も、すでにその地域に定着しており、武蔵野会館と同じような、会館の管理を主とした協議会を位置づけることは難しい。</p> <p>②市立武蔵野会館運営協議会より、利用者からの意見及び管理上の課題解決のため、利用区分・時間の変更や武蔵野会館のみの特別ルールの特提案もあったが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭島市立会館条例及び昭島市立会館条例施行規則に定めがある施設であること ・市内に市立会館は11あり、利用者は複数の会館を活用しているため、武蔵野会館のみの特別ルールは、かえって利用者の混乱を招く恐れがあること <p>などの理由により、なかなか提案通りの管理運営はできない</p>		
6	5	ボランティア助成金/サロン活動助成金	①平成26年度に交付した補助金の実績(ボランティア助成金のみ) ②ボランティア助成金とサロン活動助成金に対する評価○と◎の違いは何か	社会福祉協議会
回答		<p>①3団体に合計180,000円 ②ボランティア助成金は申請資格や回数などに制限がある。その分件数も少ないので○にした。サロンは、平成26年度末39団体から、すでに53団体と急速に増えていることから◎にした。</p>		
7	9	■市の施設の整備・充実及び使いやすい施設に向けて	「ボランティア団体や活動団体と連携を図る」ために取組んだ事例、これから取組もうとしている事業等があるか	市民会館・公民館、社会教育、市民図書館、スポーツ振興、介護福祉、健康、子ども育成、生活コミュニティ、産業活性、ごみ対策、企画政策
回答		<p>○社会教育課：拝島会館の改修工事で、フリースペースを作る予定。そのスペースの運営に関して将来的に地域住民に関わってもらえるような働きかけができればと考えている。</p> <p>○市民図書館：新しい図書館の設備ではなし会の開催にふさわしい空間づくりを一緒になって検討していく。</p>		
8	9	野外活動施設管理事業	富士見高原キャンプ場と北秋川山の家の利用状況について	社会教育課
回答		<p>平成26年度実績 → 平成27年度9月16日現在実績</p> <p>富士見高原キャンプ場(5月1日から10月19日まで) 利用団体数 9 利用者数 285 → 利用団体数 7 利用者数 189</p> <p>北秋川山の家(7月19日から9月30日まで) 利用団体数 8、利用者数 263 → 利用団体数 11 利用者数 314</p>		

NO	調査票ページ	事業内容	質問・確認事項	担当課
9	10	市民図書館の運営	①評価△の理由 ②ITCの活用について	市民図書館
<p>回答 ①必要な情報を必要な人に提供していく努力中のため ②ICタグを使った自動貸し出し機の設置等のこと</p>				
10	13	松原町コミュニティセンター管理運営	利用したサークル、利用状況について	生活コミュニティ課
<p>回答 葬儀利用:14件25日、一般利用:65件1,713人(サークルだけでなく、企業の利用も可能な施設)、フリースペース利用者:保育室247人、学習室1,903人(平成26年度10月から3月)</p>				
11	14	教育福祉総合センター建設	①進捗状況、スケジュールの状況 ②「市民交流の場」「内外との連携」として、具体的に考えている取組みは何か	教育福祉総合センター建設担当
<p>回答 ①現在今年度中の基本設計をめざし、基本設計の委託業者を選定中。10月中に決まる予定。 ②昭島市社会教育複合施設建設計画基本方針・基本計画に基づき、会議、講習、作業、グループ利用スペースなど作っていく。外部機関との連携の考え方も基本方針・基本計画に基づいて行っていく。</p>				
12	18	子どもと親の家庭教育事業	評価△の理由	子ども育成課
<p>回答 年度によって講座を応募、開催する団体数の差が大きく満足のいく事業結果となっていないため。今後は、講座募集の周知方法を考慮する必要があるため。</p>				
13	24	昭島の水道	評価◎の理由	水道部
<p>回答 この事業は「施設見学」と「水道出前講座」の2つがあり、平成25年度は工事のため施設見学ができなかった(出前講座の参加者数百名)。平成26年度は両方実施ができ、参加者も合計で1000名を超えていることから、評価を◎とした。※施設見学は常設</p>				

NO	調査票ページ	事業内容	質問・確認事項	担当課
14	25	各種スポーツ教室等の評価について	評価△の理由(少年少女サッカー教室(高学年)、クライミング施設利用認定試験、空手道教室、女性のためのエアロビクス教室)	スポーツ振興課
回答	<p>参加者が減っているものが△。 ニュースポーツ教室(インドアペタンク)は、26年度の開催数、参加者は一見激減しているが、1回あたりの参加人数は26年度の方が多い(26年度25.5人、25年度13人)。 25年度はインドアペタンクが国体のデモンストレーション競技だったので開催数は多い。</p>			
15	34~36	情報の提供について	市内で増加してきていると思われる在留外国人に対しての外国語対応について	社会教育、情報推進、市民会館・公民館、ごみ対策、介護福祉、健康、産業活性、企画政策、生活コミュニティ、市民図書館
回答	<p>○健康課:館内全体ではないが、乳幼児健診などで外国の方向けのポスターや案内は作成している。 ○市民図書館:新しい図書館機能を建設していくための先進図書館視察のなかで外国語の本を展示している図書館も視察先に入れている。</p>			
16	38	連携体制について	生活コミュニティ課を中心とした、市民会館・公民館、ボランティアセンター、社会教育課の連携以外に、連携体制を取っているものが他にあるか。	各課
回答	<p>○情報推進課と秘書広報課:広報紙及びHPの掲載記事について、広報係と情報を共有することにより市民へのタイムリーで有効な行政情報の発信を図っている。 ○「男女共同参画庁内推進委員会 DV被害者支援部会」:企画政策課男女共同参画担当係長、市民課市民係係長、子ども子育て支援課ひとり親・女性支援担当係長、子ども家庭支援センター係長、指導課学務係長のメンバー(定期的ではないが、年3回程度) ○市民図書館:子ども読書推進計画の実施状況について、庁内・小中学校と連絡会議を持っている。</p>			
17	38	相談機能について	相談件数と、その内容	社会教育課
回答	<p>(社会教育係)月に1~2件程度。サークル等を探しているという相談が最も多い。その他、講座の講師を探しているなどの相談が多い。 (文化財担当)週に1~2件程度。祭礼の日時、方言、地鎮祭はどのように行うか、お札の処理の仕方、宮司さんがいるか、宗派について、昭島の歴史について、アキシマクジラについて、など、多岐にわたる相談、質問がある。</p>			

NO	調査票 ページ	事業内容	質問・確認事項	担当課	
18	39	■人材育成の活用とボランティアの活用	「地域の実情を把握する」ために取り組んだ事例、取り組もうとしている事業等はあるか	各課	
<p>回答</p> <p>○社会教育課:生涯学習サポーターの養成と活用。市民目線の生涯学習サポーターの活動が、地域の実情を把握することにつながり、市民の意識に近い生涯学習の推進ができるのではと考えている。</p> <p>○子ども育成課(青少年係):青少年問題協議会、青少年補導連絡会、青少年委員の会、青少年とともにあゆむ地区委員会等の会議の中で情報交換を行っている。</p> <p>○市民図書館:学校支援も求められているなかで、校長先生を訪ね図書館に望むこと等をヒアリングした。今年度から市民意識調査で質問を行い、その回答を図書館運営に反映したい。</p> <p>○スポーツ振興課:スポーツ推進計画のための事前アンケート調査</p>					
19	その他	<p>① 昭島に在住する外国人の国別の人数</p> <p>② 本人たちにはどんな困っている問題があるのか</p> <p>③ 行政側として困っている問題は何か</p> <p>④ 特に言葉が通じない点をどう解決しているか</p> <p>⑤ 文化や習慣、生き方の違いが問題を起こしていることがないか</p>			